

カナダのマニトバにおける飼料作物

—その②—

IV 飼料作物と品種解説

数多くの飼料作物がマニトバ州の各種の土壌並びに気候に適応するが、全地域にまなく用いられるというものは少なく、またあらゆる利用目的に契められるということは出来ない。

○ イネ科牧草

乾草および放牧用のイネ科牧草は強韌さと永続性において卓越しているものではない。これらイネ科牧草は有機物を加えること、土壌保水力を増大させること、風蝕や流亡によるエロージョンの損失を防止することなどによって土壌を改良するのである。ここに述べる種類は永年草種ばかりで、三年またはそれ以上満すべき生産をあげるものである。

① ブローム(スミズブローム)

マニトバ州において乾草及び放牧用として最も広汎に用いられる。草丈九〇〜一二〇センチで良質多収の乾草を生産する。単独で使用した場合、好調な時は六〜八年持続

するとはいうものの、三年後には草地は密な芝状を形成し生産力のない状態を呈する。窒素肥料を用いたり、アルファルファとの混播で栽培されている場合は五年またはそれ以上生産力を保つものである。

南方型のブロームは乾草や放牧の生産力が大きいのと思われるが、種子生産の点では北方型より劣るようである。

カールトン この品種は種子生産も飼料生産もすぐれている北方型品種である。

リンカーン 飼料生産力の高い南方型の品種である。

② クリーピング・レッド・フェスク

匍匐性の根を持った牧草で芝生や放牧用として混播利用される。冷涼な、湿潤な条件下で良く生育繁茂する。豊富な濃緑の葉を呈する事により、嗜好性と栄養分の高い飼料であることが特徴で、しかも晩秋まで緑色度を持続する。草丈はさして高くなく三〇センチからせいぜい六〇センチでまりであるが、放牧の蹄傷に耐え良く直立し且つ生存年限が長い。

③ クレストッドホイトグラス

この牧草も生存年限が長く耐旱力の強い叢生型で、降雨量の少ない軽鬆土の地帯で乾草および放牧用として利用される。

最も特徴づけられる点は早春の生育が極めて早くスタートし七月、八月初期の気温が高くなる時期には休眠期に入り、秋になつて適当な雨や水分が得られると再び良く生育する性質を持っている。草丈は三〇〜四五センチの場合から九〇センチ程度に達する場合もある。若し開花後に収穫するような事になると粗剛な、低品質の乾草しか得られない結果となる。

フェアウエー 最も耐旱性の強い品種で草丈短く茎数型で、採種量が多い。

ノーダン及びサミット 共に草丈高く多葉性で飼料生産の高い品種。

④ インターメディアエート ホイトグラス

この牧草はスミズブロームグラスの生育に適する地帯に良く適応する乾草、放牧用の草種である。生存年限は四〜五年で中

スミズブロームグラス



程度、匍匐性の地下茎を有する多年草である。草丈は九〇〜一二〇センチ、他草種とは明瞭に区別つく長身の幅広い葉を有する。化学肥料を用うると大いに収量が增大する。チーフ この品種は青味がかった緑色を呈する葉が特徴で、乾草も種子生産も大へんすぐれている。

⑤ メドウフェスク

重粘地、排水不良の湿潤地にも適応する放牧主体の草種である。草丈六〇〜九〇センチで、短期間の湛水状態にも耐えまた秋に良い生育を示す。メドウフェスクをアルフ

クリーピング・レッド・フェスク



アルファと混播して使用した場合には二年以上は十分長もちする。

① リードカナリーグラス

この草種はかなり長期間湛水するような淡水性の湿潤水でも適合する。地下茎を有し永年草である。草丈は九〇〜一八〇センチにも達し開花期迄に収穫するならば、嗜好性のある養分の高い、豊富な葉を多量に生産する。一方乾草作りに手間取ったような場合には嗜好性も栄養価も急速に低下してしまう。種子は簡単に落下してしまうので採種は面倒であり従って種子の価格も高価である。

⑦ ラシアンワイルドライグラス

永年性で放牧用利用するが乾草には向かない草種。地表部から直接豊富な葉を叢生し、草丈三〇〜四五センチ、夏中緑葉を再生し秋迄の飼料価は高いものである。乾燥に耐え放牧や青刈後の再生力が強く且つ早い。然し発芽初期の生い立ちは頗る貧弱で一人前になるまでが大へんである。

クレステッドホイトグラス



スワキー 特に耐旱性品種である。

⑧ スレンダーホイトグラス

短年生、耐塩性が短期間の湛水に耐える。草丈は六〇〜九〇センチ、育成はたやすく耐旱性もまたある。良品質の乾草を生産することが出来て嗜好性は中位である。乾草は二〜三ヵ年とれるがそれ以降は急速に生産力が減退する。

ブライマー 耐病、高収量品種である。

⑨ トールホイトグラス

短期間湛水に耐えるアルカリ性土壌に通常利用せられ草丈は九〇〜一五〇センチ、永年性で粗剛、開花は七月下旬、種子生産量は不安定。

⑩ チモシー

湿潤な重い土壌を好むが土壌水分が豊富であれば軽鬆土でも差支えない。良品質の乾草を生産し種子の生産もマニトバ北部、東部では良好である。

クライマックス 在来種より晩生の多葉性品種である。

○ マメ科牧草

マメ科牧草は良好な管理の下において、また、一般的土壌条件にあって栄養価の多い多収作物であると言える。

マメ科作物は土壌に窒素質と有機質を増加させ、深く貫通する直根は土壌深部の排水状態を良くさせるので殊に良好な土壌改良作物でもある。

播種に当たってはマメ科のあのような小さな種子から良好な生い立ちを得るのであるから、特に浅い覆土でなければならぬ。春の播種は、良く初期生育を助長し、

幼植物の冬損を回避するために実質的な方法である。

① アルファルファ

アルファルファ(ルーサン)は全般的に適応性があり、高収量を得、冬枯などにも強健で、永続性長く且つ乾草にも放牧にも利用せられる飼料作物である。草丈は六〇〜九〇センチとなる。単播でも良いが他の飼料作物との混播でも良い成果が得られる。株立ちが確立されれば五年以上の長期にわたって、毎年乾草を一〜二回生産出来る。種子生産は見込みがない。殊に林地のない曠野では尚更である。アルファルファは若干耐塩性を有している。

ビーバー この品種は細菌性凋萎病に対し抵抗性を有し、耐寒性も強く、乾草収量の高い品種である。

ラダック 適応性が広く、安定した高生産の乾草を得られる。

ランプラー 放牧型のアルファルファである。匍匐性の根系を有し耐寒性、耐旱性が大である。

バーナル 細菌性凋萎病に対する抵抗性は中位であるが最も生産性の高い品種である。

② スイートクローバ

二年生、九〇〜一五〇センチの草丈となり、短年輪作用の代表的品種である。アルカリ性土壌に適し種子生産も豊富である。混播においては強力な組合せ相手となることからイネ科牧草の生育を微弱化させてしまう。

この作物の問題点をあげれば、①スイー

トクローバ、穀象虫による被害、②家畜に単食させた場合、例のスイートクローバ病による危険、③硬粒種子の問題、特に乾燥年において土壌中で休眠を続けるため、後作物の代になって発芽して行く。

黄花品種は茎も太く立派で、葉の着生多、白花品種に比べ分枝の広がりもよい。

アークチック 高収量、多葉な白花品種。エレクター 数本の低い匍匐枝を出す多葉な黄花品種である。

③ 赤クローバ

短年生で、マニトバ州の北方及び東部の土壌湿度のある森林植生地帯に適する。種子生産も可能であり、乾草作りは二〜三年間十分得られる。

シングルカット品種は、年に一度刈で乾草なり種子生産をしようものである。

ダブルカット品種は、一般に年間二回刈取が出来るものである。もし二回目の刈取りを採種に回す場合は、一回目の刈取りを六月の初期に行なって、それも剪み切るような感じの刈り方にして二番がうまく採種できるように取扱わなければならない。

アルタスウエード はマニトバの条件に良く適したシングルカット品種である。

④ アルサイククローバ

排水不良の重粘地に適し、前記耐湿性の強いイネ科牧草との混播に良い。湿度が適度に満たされている場合、耐寒性が強まり三年又はそれ以上良好な生育を続ける。

⑤ 白クローバ

イネ科牧草と混播し放牧に用いるマメ科牧草である。単播の場合、生存年限は極度

第1表 混播組合せと栽培基準

作物と混播組合せ	用途	播種量 10分当たりkg		収穫時期	
		刈取用	採種用	乾草	採種
A 排水不良地を除く各種土壌地帯向 ブroomまたはインターメディアートホiert アルファルファ	乾草及放牧	1.0 0.3		開花初期	
ブroomまたはインターメディアートホiert スイートクローバ	乾草及放牧	1.0 0.3		着蕾期	
アルファルファ	乾草, 採種		0.5	開花初期	萌褐色期
ブroomまたはインターメディアートホiert	採種		1.1	開花期	穂が変色して
ブroomまたはインターメディアートホiert クレストッドホiert ラシアンワイルドライ アルファルファ	放牧	0.6 0.3 0.3 0.2			
B 排水良く且つ土壌水分豊富な地帯向 ブroomまたはインターメディアートホiert メドウフェスク アルファルファ	乾草及放牧	0.6 0.5 0.3		開花初期	
ブroom メドウフェスク クリーピングレッドフェスク アルファルファ	放牧	0.6 0.3 0.3 0.2			
赤クローバ	採種		0.7		2/3の萌褐色期
メドウフェスク	乾草及放牧	1.1	1.1		穂が変色して
チモシー	採種		0.6		穂が変色して
C 軽髪土及び土壌水分不足な地帯向 ブroomまたはインターメディアートホiert クレストッドホiert アルファルファ	乾草及放牧	0.6 0.5 0.3		開花初期	
ブroom アルファルファ スイートクローバ クレストッドホiert アルファルファ	乾草及放牧 乾草及放牧	1.0 0.2 0.1 0.8 0.2		開花初期 開花初期	
クレストッドホiert	乾, 放, 採種	0.8	0.8	出穂初期	穂が変色して
D アルカリ性土壌 スレンダーホiert トールホiert スイートクローバ アルファルファ	乾草	0.5 0.6 0.3 0.3		着蕾初期 開花初期	
スレンダーホiert	乾草, 採種	1.0	1.0	出穂初期	穂が変色して
トールホiert	乾草, 採種	1.1	1.1	出穂前期	穂が変色して
E 一時的湛水を蒙る排水不良地帯向 リードカナリーグラス メドウフェスク アルサイク	乾草, 放牧	0.3 0.7 0.2		出穂直前	
リードカナリーグラス	乾放, 採種	0.7	0.7	出穂直前	穂が変色して
F 湛水を受けないアルカリ性土壌向 スイートクローバ	乾草, 採種	1.1	0.6	着蕾, 開花直前	1/2 萌褐色

に短くなり、生産性も低くなる。
ホワイト・ダッチとかラデノ
などのタイプもこの作物の中に
含まれる。

⑤ バーズフット
トレフォイル

アルファルファが良く生育し
ないような酸性土壌で満足すべ
き生産を得られるのがこの多茎
性のバーズフットトレフォイル
である。一人前に確立するのが
頗る緩慢で混播の時の相手作物
との競合にも弱い。しかし一旦
植生が確定すると、生存年限は
長く放牧に用いてよく、土壌保
全用にも良い。

V 混播組合せと
栽培基準

(第一表参照)

「註」この文献はカナダ国立農
試グロス氏がキャンベル、ス
トリーガード、トラスコット、ク
レーグ氏らの資料をまとめたも
のを編集係が翻訳したもので、
刈取、貯蔵、利用、病虫害など
は省略いたしました。

× × ×
× × ×